

一般財団法人
熊本県
教育会館ニュース

発行所
熊本市中央区九品寺1丁目11-4
熊本県教育会館事務局
TEL 096-372-3800
編集・発行 平江 佳幸
印刷所 ホープ印刷株式会社

平成27年度上期の事業進捗報告 (11月24日 理事会)
「事業計画通り着実に執行中」を
理事会で確認

11月24日に第14回(平成27年度第5回)理事会を開催し、平成27年度上期の事業報告・上期決算が承認され、上期の事業進捗については、計画通りに執行中であることが確認されました。一般財団法人に移行して3年目となりますが、公益目的の事業もきちんとすすめています。その主な事業は「教育文化事業」です。その内容を中心に報告いたします。

図書寄贈

教育会館設立25周年を記念して平成2年(1990年)から始めた図書券の寄贈を継続しました。これまでの25年間で県内のべ600校(小中学校497校、内重点校30校、県立学校103校、内重点校24校)に3,270万円寄贈しました。平成23年(2011年)には東北震災の被災校128校に300万円を寄贈しておりますので、寄贈校総数728校、寄贈総額3,570万円となりました。※今年度より、図書寄贈の費用の一部は、厚生情報センターから「教育貢献費」として負担しています。

今年度も7月に寄贈校29校全てを訪問して寄贈しました。平成27年度の寄贈校は、左記の通りです。
(○)は読書重点校1年目、◎は読書重点校2年目
○「荒玉」 南関一小、小天小、玉南中
△「山鹿」 六郷小
△「菊池」 旭志小、西合志中
△「阿蘇」 高森中
△「熊本」 中島小、城東小、春日小、菱形小、五福小、豊田小、池上小、桜山中、城西中、富合中、天明中
△「上益城」 嘉島東小
△「宇城」 三角小



南関一小



湯浦小



天草高校 倉岳校

(八代) 泉小、八代七中
(人球) 木上小
(水芦) 湯浦小
(天草) 阿村小、天草小(県立)◎天草高校倉岳校、◎荅洋高校、◎小国高校

教育会館(学校)寄席 今年も大好評! 5つの学校(4会場)で行いました。



10月21日(水)13:50~
湯前町立湯前中学校
生徒100人 教職員17人
保護者・地域の方など29人



10月22日(木)10:50~
八代市立宮地小学校
児童146人 教職員23人
保護者・地域の方など16人



10月22日(木)19:00~
湧心館 熊本工業高校(定時制)
生徒200人 教職員60人
保護者・地域の方など10人



10月23日(水)13:30~
黒石原支援学校
生徒73人 教職員30人
保護者・地域の方など1人

●来年度の『会館寄席』について
来年度の開催について現在検討中です。詳細につきましては、平成28年1月頃に『教育会館ホームページ』に掲載の予定です。
なお、お問い合わせ等ございましたら、お気軽に教育会館まで連絡ください。

今回は2つの学校の合同開催という新たな企画もできました。日本の伝統文化芸能に触れ、心温まる楽しい一時を過ごしました。

「教育会館寄席」の開催は今年で7年目となりました。学校での開催は6年目となり、今年も5校(4会場)で開催しました。学校の協力で、今年も充実した会館寄席となりました。

出演者の皆さん
落語 柳家 さん喬 師匠
柳家 喬之助 師匠
太神楽 翁家 和助 師匠
三味線 太田 その 師匠

- 1・2面 教育文化事業
- 2面 第28回熊本県小中学校百人一首かるた大会 ご案内
- 3・4面 平成27年度上期事業報告
- 4面 かんば生命団体取扱いお知らせ 会館共済(太陽生命)関係

会館学校寄席・次第
(打合せ・準備 開会2時間前)
開会行事(開始は学校による)
公演(約90分)
①寄席ばやしの実演、
②落語「子ほめ」または「寿限無」
③太神楽
④落語「初天神」または「幾代餅」
閉会行事(終了は学校による)
(後片付け等 閉会后約30分)

ヒーリングセミナー

日時: 8月11日(月)10:00~13:00
会場: 教育会館(講演)及びアソシエッド(ランチバイキング)
講演: 「上手なストレスコントロール法」
※リラックス法・ストレス解消法・自律訓練法
講師: 後藤 由美子 先生(日赤熊本健康管理センター)



忙しい毎日を過ごされている教職員に、ゆったりとした時間や自分を見つめ直す時間を提供するために、毎年1回8月に開催しています。今年8月には後藤由美子先生に「上手なストレスコントロール法」のご講演をいただきました。17名参加いただき、体を動かす活動を取り入れた楽しいセミナーでした。終了後の「会食」は、ちょっとリッチなランチで、会話も弾みました。来年度も多くの参加をお待ちします。

たまには自分にごほうびを！
こころゆったり
ヒーリングセミナー

パパママ 広場



「カムバックセミナー」の補完する場として、平成24年度下期から開催を始めました。子育て中のパパママの情報交換の場として提供しています。原則として、毎月1回第2水曜日に開催しています。お申し込みや詳しい内容は「会館ホームページ」で確認ください。

カムバックセミナー・次第

11月11日(水) 熊本市 火の国ハイツ
○お子様預かり 13:30～ 開会 14:00～
セミナー1 育児等に関する諸制度の活用について
講師 学校人事課 谷脇 参事
セミナー2 共済組合関係について
講師 福利厚生室・
公立学校共済組合 石崎 参事
ティータイム 育児休業体験者のお話
菊池 支援学校 松村 教諭
南ヶ丘小学校 東 教諭
お茶しながら、質問や情報交換
○閉会、お子様引き取り 16:15～



カムバックセミナー

今年も大好評

「カムバックセミナー」も今回で8回目となりました。県下各地から73名(託児58名)の参加があり、県教委学校人事課及び公立学校共済組合から「育児等に関する諸制度の活用について」及び「共済組合関係について」についての詳しくご講演いただきました。また要望が多かった「育児休業体験者のお話」をしていただく場も、昨年に引き続き設けることができました。今後の現場復帰に向け、多くの情報に触れることができるセミナーとなりました。ティータイムは、お互いの思いを共有できる、楽しい歓談の場となりました。

『第28回熊本県小中学校 小倉百人一首かるた競技大会』のご案内



主催 熊本県かるた協会
後援 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会
熊本県教育会館 熊本日日新聞 熊本放送
期日 平成28年2月21日(日)
8時45分受付 9時開会(午後4時終了予定)
会場 熊本県教育会館5階ホール
熊本市中央区九品寺1-11-4
(TEL 096-372-3800)

対象 県内小中学生
試合形式 ①3人1組による源平戦(選手3名)
②参加チーム数により、トーナメントかリーグ戦
※詳細は熊本県かるた協会ホームページに掲載

参加区分 中学校の部
小学校の部(上級・中級・初級の部)
(1)上級-3人とも百首覚えているチーム
(2)中級-1人または2人百首覚えているチーム
(3)初級-3人とも百首覚えていないチーム
表彰 優勝、準優勝、3位
参加料 無料

申込要領 平成28年2月12日(金)までに、必要事項を記入した申込書を下記宛先へ、メール又は郵便でお送り下さい。

- ※各校2チームまで。参加申し込み多数の場合、抽選します。
- ※有段者の参加はご遠慮下さい。
- ※同一校内でチームが作れない場合、他校との合同チームを認める事もありますが、事前にご相談下さい。
- ※必ず保護者又は教師の引率をお願いします。
- ※やむを得ずチーム人数が2名になっても出場できます。

●申し込み、問い合わせ先
〒862-0924 熊本市中央区帯山5-7-13
高橋章夫
TEL 090-5475-6628
Eメール takahasi@mxt.mesh.ne.jp



●かるた・将棋

日本の伝統文化の振興のため、県かるた協会、日本将棋連盟熊本県支部が行う大会や練習会のために年間約30回会場を無償提供しています。2月には「小中学校小倉百人一首かるた競技大会」を県教育委員会や熊本市教育委員会、熊日、熊本放送と共に後援します。(募集要項は左参照)

※「ハートラインくまもと」の子どもの電話相談活動は現在休止中になっています。

「教職員の電話相談室」
「レモングラス」
気軽に話してみませんか。
毎週火曜日 19時～22時
TEL 096-372-3810
携帯 080-1737-0981
一般財団法人熊本県教育会館

●教育相談

教職員対象の電話相談室「レモングラス」を毎週火曜日19時～22時に開設しています。秘密は厳守ですので、お気軽に電話ください。(096・372・3810)



※今年度の募集は締切っています。来年度の募集は、平成28年2月に要項をホームページに掲載予定です。

●ヨコガ教室

教職員及び教育会館周辺の地域住民対象の「ヨコガ教室」は、4年目を迎え参加者も増加し好評です。原則、毎月第1木曜の10時30分～12時、第3木曜の18時30分～20時の2回行っています。講師は日本ヨীগ学会認定准教授の木原美保先生です。楽しいですよ。

アートの ひろば

第10期 平成28年1月～5月
・1月期は、松下佐代氏(熊本市)
・2月期は、大平洋輔氏(天草市)
・3月期は、佐川忠邦氏(芦北町)
・4月期は、山田紘一氏(宇城市)
・5月期は、福田 眞氏(熊本市)

平成28年1月から第10期の企画展がスタートします。来年5月までの出品者(予定)は以下の通りです。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



27年8月の
浜田知明氏の特別パネル展

平成27年度
上半期事業報告

1. 財政運営

(1) 会館の基本資金である会館建設基金(出資金)については、出資依頼を中止しています。そのため、新たな出資者はありませんでした。出資金の返済は、定年退職者には年度内に返済するようにしましたので、今年度に入ってから返済は112人(小中定年4人、若年81人、県立定年1人、若年11人、その他15人)、1,158,000円でした。この結果出資金の残額は87,545,000円となりました。

(2) 地代家賃は、100%納入されています。

(3) 会議室賃料は、前年同期に比べ、出資者利用の件数が20%の減・賃料が1%弱の減、一般利用の件数が20%の減・賃料が8%の増となり、全体で件数は20%の減・賃料は6%の増となっています。5月～7月は空調関係工事の影響もあり賃料の増はホール利用の伸びです。

(4) 会館共済事業の集金手数料収入は約1,400万円と前年同期より若干減少しています。会館共済の特別給付は、前年よりやや減少傾向です。満期祝金は保障期間の5年延長の関係で、昨年度より再発生しています。なお退職祝金は10月に約141万円給付しています。

(5) 会館経営の安定化のための各種引当を行います。今年度は、建物修繕引当から2,500万円を、職員退職に伴い退職給与引当から185万円を取り崩しました。退職給与引当以外は、経営状況を勘案し年度末に引き当てします。

(6) 会計処理は「区分経理」により「継続事業(公益目的事業)」の適正な執行が必要ですので、そのため、ユース会計社(吉永公認会計士事務所)との契約を継続し、適正な処理と円滑な執行に努めています。事業収入と管理経費の適正化については、制度検討委員会で協議を始めています。

2. 管理業務

(1) 夜間や休日の管理警備は、3名と業務委託契約を結び、会館を常時使用できるようにしています。会館閉鎖は12月29日から1月3日までです。

(2) 安全管理及び設備・備品の保守については、専門業者と保守契約を結び行っています。

(3) 火災の未然防止と万一の災害に備えるため、4月16日に防火対策委員会を開催して、防火管理組織・自衛消防組織を編成するとともに、防災年間計画を策定・確認しました。今年度第1回避難訓練は、5月26日に「白川校区第5・7町内と教育会館の第4回合同避難訓練」として実施しました。



今回は地震発生による避難を想定し、熊本市中央消防署にご協力をいただき地震車により地震体験、講話等を行いました。また専門業者(ユージー防災設備)による消防設備の点検を9月8日に実施しました。

(4) 建物の保守関係としては、立体駐車場のボルトの緩み対策は、点検等を継続し、今年度は駐車場点検及び駐車場補強(無料)を5月末から6月初めに行いました。その他、中水ポンプ取替工事、女子トイレ修繕工事を4月に、トイレ温便座改修工事、4階階段室ドア修理を5月に、非常灯バッテリー交換を6月に、5階パトリリモコン取替工事、1～4階の排煙窓オペレーター装置取替工事、中水ポンプ故障警報工事・中水フット弁工事を7月に、上水の水質検査を8月に、5階の排煙窓オペレーター装置取替工事を10月に、漏電検査、電気量計子メーターの取替工事を11月に行いました。上水貯水槽の清掃を年度内に予定しています。空調関係大規模改修は、

設計・監理については大和設計と契約を結び、施工については旭電業と契約を結び実施しました。5月14日の工事開始から7月23日工事終了まで無事に進みまし

た。集中オンデマンド導入もあり、省エネルギーや経費削減に効果が上がっています。

(5) 個人情報保護については、平成27年5月14日の第10回理事会にて制定しました「個人情報保護基本規程」に基づき適正な取扱いに努めています。

(6) 「教育会館ニュース」を7月に発行し、会館の事業等の広報に努めました。また、ホームページを活用して情報の開示と発信に努めました。

3. 福祉共済事業

(1) 会館共済I型
「遺族生活給付金共済」
「介護プラン」
「医療プラン」
発足31年目を迎えた会館共済は、新規加入者が258名で加入者総数が10,683名となりました。前年より298名の減でした。「介護プラン」は、昨年度3,306名から251名増の3,557名となりました。「医療プラン」は、昨年度より174名減の5,170名となりました。加入者の死亡に伴う遺族生活給付金については、平成26共済年度(平成26年9月1日～平成27年8月31日)は、死亡12人(前年度11人)で給付総額は1億7,800万円(同1億4,500万円)でした。また医療プランの給付は156件(同172件)で給付総額は985万1千円(同1,346万7千円)でした。特別給付金(会計年度平成27年4月1日～平成28年3月31日)は、上期で555万円の給付となっています。

(2) 会館共済II型
(貯蓄型生涯保障共済)
新規加入者は6名、退職等により52名の減で加入者総数は766名(前年度818名)になりました。漸減状況が続いています。(3) 傷害プラン
新規加入者は1名で、加入者総数は123名(前年度129名)となりました。(4) 会館共済特別給付金の申請に対しては、給付の適正・迅速化を図るために、給付審査委員会を毎月2回開催し半月毎に審査・給付の体制をとっています。(5) 共済事業の制度や運営のあり方等については、制度検討委員会で検討を行っています。第30次より、再任用の義務化に向けてのことも考慮して在職中の方は65歳6カ月まで新規加入を可能にし、また特別給付金についても出産祝金を誕生祝金にリニューアルし、医療プランの日帰り入院を保障する制度の導入を行い、特に誕生祝金や日帰り入院は好評を得ています。

(6) 個人保険の団体取扱い

① 太陽生命関係
これまででは会館共済の補完として、太陽生命の個人保険「わくわくポッケ」「けんこうレスキュー」「保険組曲Best医療プラン」の3種類約80件の団体取扱いを行っていました。また生協くまもとが取扱っていた個人保険が約20件ありました。この2つの団体取扱いを教育会館に統合することにしました。平成27年10月より、請求・収納を始めています。(P4「会館共済のお礼とお知らせ」も参照ください)

② かんば生命関係
これまで熊本県下の教職員については団体取扱いができなかった「かんば生命保険(平成19年10月以降に契約した証券)」の団体取扱いを始めることになりました。教育会館は義務制の先生方の取扱いを行います。県立関係の先生方については、熊本県高等学校生活協同組合が行います。

平成27年8月24日付でかんば生命との団体取扱いに関する協定書結び、平成28年2月からの取納開始に向け取り組みをすすめています。10月初めに、義務制の各学校に「かんば生命保険の団体取扱いの開始の周知の依頼文を送付し、現在は希望者の方から「団体払込加入確認書」の取付を行っていただきます。(P4「かんば生命団体取扱いのお知らせ」も参照ください)

4. 教育文化事業

(1)教育会館設立25周年を記念して平成2年より始めた図書券の寄贈を継続しました。これまでの27年間で県内のべ600校に寄贈しました。今年度も寄贈校29校全てを訪問して寄贈しました。これまでの寄贈総額は3,270万円です。

(2)『会館共済第25次キャンペーン企画』として行った教育会館寄席は、学校の児童生徒に対して是非行ってほしいという声から、教育会館学校寄席を開催して6年目になりました。今年は5つの学校(1つの会場は共同開催で4つの公演)で開催しました。どの学校からも好評をいただいています。

(3)熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本支部の事業を支援し、日本の伝統文化や芸能の振興を図るため練習会や大会等に会場を無料で提供しています。2月21日(日)には熊本県かるた協会主催の「第28回熊本県小中学校小倉百人一首かるた競技大会」が開催の予定です。教育会館は、熊本県教育委員会と共に後援します。

(4)会館新築移転10周年を記念して、平成18年8月より『教育会館アートのひろば』を開催しています。熊本県の教育に関係深い方の作品を教育会館玄関ホールに展示しています。第10期は平成28年1月より開催予定です。

(5)その他の教育文化事業として、メンタルヘルス「こころゆったり講座」を8月11日(火)に教育会館で開催し、日赤熊本健康管理センターの後藤由美子先生のご講演「上手なストレスコントロール法」と昼食でゆっくりした時間を過ごしてもらいました。参加者は17名でした。育児休業者現場復帰支援「カムバックセミナー」を11月11日(水)に火の国ハイツで開催しました。県教育委員会学校人事課の谷脇参事のご講演「育児等に関する諸制度の活用について」と教育政策課福厚生室の石崎参事のご講演「共済組合関係について」をお聞きしました。

「育児休業経験者のお話は、今年度も菊池支援学校の松村教諭、南ヶ丘小学校の東教諭にしてください。その後はティータムを楽しんでもらいました。参加者は73名で、託児は58名でした。また、教職員向けの電話相談室「レモンガラス」を毎週火曜日に開設しています。なお、子どもの電話相談活動を行っているNPO法人「ハートライン」は、現在ハートライン事務局の都合により休止中となっています。

5. 事務受託事業

(熊本県教職員厚生情報センター) (1)センターの運営については、業務委託契約に基づき教育会館が運営主体となっています。主な事業

である加盟団体の利用代金の請求及び収納は、順調に運用できています。また教育貢献としてセンターからも教育文化事業の図書寄贈の費用を一部負担しました。(2)個人情報保護法に基いては、個人情報保護基本規程に基づき行っています。またセキュリティ面については、教育会館の情報セキュリティ規程及びセンターの情報セキュリティ方針に基づいて適正運用に努めています。

その他の講案

平成25年5月31日に公布された「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(マイナンバー法)が、今年10月5日に施行され、マイナンバー制度が始まりました。個人番号は非常に重要な個人情報となるために法令やガイドラインでの取扱いが厳密に定められています。

マイナンバー法、利用の開始にあたり、特定個人情報の「取扱いに関する規程」の新設と「基本方針」の策定、関連する既存の「個人情報保護規程」と「就業規則」の改正を行いました。

なお、マイナンバー制度は平成28年1月よりの運用開始の新たな制度ですので、今後の国や県、社会等の状況をみながら、柔軟な対応をとってまいります。

かんぽ生命団体取扱いのお知らせ

平成28年2月から

小中学校の教職員は一般財団法人熊本県教育会館が、
県立学校の教職員は熊本県高等学校生活協同組合が、
かんぽ生命の保険料の団体取扱いを開始します！

団体取扱いにすると…

- ◎給与システム引きなので、払込み忘れを防げます！
- ◎口座払込み(口座振替)や集金・窓口払込みに比べ、保険料が割安になります！

〈例〉口座払込み(口座振替)での月払保険料を10,000円とした場合

払込方法(経路)	口座払込み(口座振替)	団体払込み
月払保険料	10,000円	9,900円

※団体取扱いを受けるためには、一定の要件があります。
※年金保険は団体取扱いの対象外です。

約1%割安

取扱いの対象となる保険 学資保険・養老保険・終身保険など

3月以降も、随時、団体取扱いが利用できます。
団体取扱いご希望のお客さまは最寄りの郵便局
または教育会館、高校生協までお問い合わせください。

会館共済

第31次キャンペーンのお礼

みなさんの優しい気持ちから生まれた『会館共済』もおかげさまで31年を迎えました。今年も5月11日～6月5日の第31次キャンペーンでは学校訪問をさせていただき大変お世話になりました。ありがとうございました。

『会館共済』は熊本県の教職員の方が安心して豊かな生活ができるように願い、教職員の相互扶助の制度として昭和60年に発足しました。制度の内容は、【I型生活保障】【I型介護保障】【I型医療プラン】【I型傷害プラン】【II型年金】に教育会館独自の【特別給付】を加え、万一の場合の保障から生活していくために必要な保障をお手頃な掛金で準備できるよう設計されております。これまでの31年間で先生がたのご意見やご要望をもとに幾たびと制度改定を行いました。【I型生活保障】は在職中65歳まで新規加入でき、退職後も75歳までご継続いただくことができます。【特別給付】の誕生祝金は男性にも拡大しました。また【I型医療プラン】は日帰り入院から保障の対象(特別給付)となるなど、制度は年々充実してきました。

今後も先生方の生活保障の柱として最大限ご活用いただけるような制度にしていまいりますので、ご意見やご要望をどんどんお寄せください。次年度も第32次キャンペーンで、全学校へ訪問させていただく予定です。ご多忙中のことと存じますが、よろしく願いたします。

お知らせ

熊本県教育会館では『会館共済』の引受保険会社である「太陽生命の個人保険」の団体取扱いでの収納を実施しております。団体取扱いをご希望の方は教育会館までご連絡をお願いいたします。

※団体取扱いを受けるためには、一定の要件があります。